

講義名	対)日本文化と社会【留学生科目】			授業形態	
担当教員	山田 勇人	開講期・曜日・時間	前期集中 日曜日 その他		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

#### 主題と概要

この授業では、日本社会と日本文化について学ぶ。「日本社会の変容」をテーマに、日本社会の在り方、問題点などをグループで調査し、ディスカッションなどを行う。そして、日本文化の中から「書道」「俳句」「落語」を取り上げ、実際にこれらを体験する。また、日本人の暮らし方の変遷を知ることができる施設を見学し、自国との違いを発表する。

#### 到達目標

・「日本社会の変容」をテーマに日本社会が抱える問題点、課題について理解を深めることができるようになる  
 ・「大げ暮らしの今昔館」見学を通して、日本人の暮らし方の変遷について理解を深めることができるようになる  
 ・「書道」「俳句」など日本文化を体験し、日本文化について理解を深めることができるようになる

また本授業は、オンデマンドでの受講では、到達目標を達成することが難しい科目であるため、オンデマンドでの開講はできない。新型コロナウイルス感染症の感染者、または、濃厚接触者に指定され、一時的に通学が禁止となった学生に対しては、個別に対応する。

#### 提出課題

課題や発表資料など、授業中に、その都度指示する。

#### 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

プレゼンテーションでは、講師自らが講評を行い、フィードバックする。レポートの場合は、学生からの要望により、講評の説明に応じる。

#### 評価の基準

課題提出50%、口頭発表20%、調査活動などの授業参加度30%など、総合評価を行う。

#### 履修にあたっての注意・助言他

土曜日の集中講義である。  
 欠席は、毎回とり、全授業回数の1/3以上欠席した場合は、単位を認定することができない。  
 15分以上の遅刻は、欠席とする。

真面目かつ積極的な授業参加を望む。

#### 教科書

.使用しない。

#### 参考図書

.なし。

#### その他

必要に応じて、プリント資料を配布する。

#### 授業計画

- 【1回目】
1. イントロダクション：授業の進め方および注意事項、スケジュール、評価方法など
  2. 日本社会の変容について
  3. 日本社会の変容について調査、発表、ディスカッションをする
  4. 日本文化を体験する「書道」
  5. 日本文化を体験する「落語」
- 【2回目】
6. 現地学習の準備：インタビュー内容の確認、注意事項など
  7. 現地見学1：施設の説明
  8. 現地見学2：インタビュー調査の実施
  9. 現地見学3：施設の見学
  10. 現地学習の振り返り：気づいたこと・感想など
- 【3回目】
11. 調査結果の発表準備：口頭発表の準備
  12. 調査結果の発表1：口頭発表
  13. 調査結果の発表2：口頭発表
  14. 日本文化を体験する「俳句」
  15. 日本社会、文化について意見を述べる、まとめ

#### 授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/> カ：実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

#### 準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- 事前に配布する資料を熟読し、課題や問題点をまとめておくこと
- ・各授業に対し、2時間程度
  - 各回に配布した資料を熟読し、要点をまとめておくこと
  - ・各授業に対し、2時間程度

#### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

留学生を対象とした科目群で、日本語の4技能（聞く、話す、読む、書く）について実用的かつ基礎的な語学力を修得するとともに、合わせて日本の社会や文化について学ぶことを目的とする科目である。

#### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

#### 実務経験の有無及び活用

#### 備考